

図書館通信

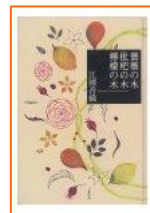
VOL. 9

平成 18 年 4 月 20 日
熊本国府高等学校図書館

入学おめでとう♪

高校生といえば、ちょうど子どもから大人へと変わる大事な時期ですね。以前は男子は 15 歳で元服し、大人として扱われていましたが、今は 20 歳で成人を迎え、大人の仲間入りをします。しかし、高校生となると「もう子どもじゃないんだから」と言われたかと思うと「まだ子どもだから」と言われることもあり、大人と子どもの間で複雑な思いをすることもしばしばでしょう。思春期と合間って、言われる度にイライラすることもあるかもしれません。でも、実は大人も複雑なのです。大人のように大人でない、子どものように子どもでない。自分も歩んで来た道ではあるけれど、それだけに複雑なのです。人間はとても繊細な生き物です。子どもは特に繊細です。他者と関わる時に傷つけたり傷つけられたり。大人は、子どもをなるべく傷つけないように・・・と配慮する。子どもに聞かせたくないこと、見せたくないもの。そんな時つい「まだ子どもだから」へベクトルが動くのです。しかし、3 年後社会に出て行く高校生が社会の荒波にもまれても頑張っている生きていて欲しいと期待や願いが強くなると「もう子どもじゃないんだから」へとベクトルは動くもの。結局、大人も子どもも複雑なのです。だからこそ、これからの 3 年間、大人も子どもも一緒に笑い、一緒に泣いて、楽しい高校生活を送りましょう！

今月の特集は「花」にまつわる本を集めてみました。時は春。見渡せば赤や黄色、ピンクの花々が華やかに街を彩っています。やわらかな光を受けて、木々も新芽を出し、我々も何となくウキウキ、ドキドキ。そんな、命の息吹を感じる季節に「花」にまつわる本はいかがでしょう♪



知っていますか？著作権

その 5

前号に引き続き、複製、いわゆる本や雑誌、地図などのコピーについてお話ししましょう。国語や社会の授業で先生から配られるプリントがありますよね。例えば、社会科の N 秀先生が F2-3 のクラスで「人類の進化」を詳しく説明されるために「ミッシング・リング」という本のどこか 1 ページをコピーされて配られたとします。F2-3 は 38 名ですから、N 先生は自分を入れて 39 枚しかコピーすることが出来ません。でもっ！ S2-6 (42 名) に授業に行かれる T 先生が「人類の進化」について授業されようとした時に、心優しい N 先生が、「ミッシング・リング」の内容が素晴らしかったから・・・と S2-6 + T 先生分を合わせて 43 枚を一緒に、もしくは T 先生の代わりにコピーしてあげることは著作権法上許されていません。あくまでも、その授業に行かれる先生が「授業を受ける人数 + 自分の分」を自分でコピーして利用するのが原則なのです。

しかし、同じように授業に使うからといっても商業科の検定用の問題集や参考書は「著作権者の利益を不当に害する」と考えられているため、コピーして使うことは原則ダメ！だとされています。これらは検定を受けるための勉強は、当然問題集を購入してするものだと想定されているからです。

(参考文献「学校その他の教育機関における所作物の複製に関する著作権法第 35 条ガイドライン」著作権法第 35 条ガイドライン協議会)

オススメのこの一冊

今月は何かな～♪



「魂萌え！」 桐野夏生 著

毎日新聞社 1700 円

初老を迎える男女の人間模様を描いた作品は、ベストセラーにもなり、様々な話題を呼びました。しかし年齢的には初老ではあっても、この本に登場する女性たちに「若い」を感じなかったのは私だけでしょうか？今を生きることや将来のことに不安を覚え、焦燥感を抱くこと。それは決して年齢など関係なく、自分を取り巻く環境や人間関係に由来するのだと思えた一冊です。最近、世間を見渡すと、人間関係が殊に希薄になりがち。もう少し心を開いて相手を受け入れ、また自分自身も見せることが出来たら、もっと人間関係に深みが出るのかもしれない。